

平成30年度事業計画書

循環型社会の実現に寄与するために、産学官民による共同研究体制でリサイクル技術や社会システムの開発を行い、その実践を支援する先導的な拠点である「福岡県リサイクル総合研究事業化センター」の取組として、研究開発事業や環境情報事業等を実施する。

1 研究開発事業

県内の共同研究チームが実施するリサイクル技術や社会システムの研究開発及びその成果の実践を支援する。

(1) 研究会の運営

産学官民の関係者による研究会を編成し、多角的な視点から実用化の可能性を検討する。

(継続テーマ)

- ・ 架橋型高発泡ポリエチレン（PE）のマテリアルリサイクル技術開発研究会 (平成29年度～30年度)
 - ・ 廃プラスチックの高度利用による、製鋼反応研究会 (平成29年度～30年度)
 - ・ 紙おむつ再生ポリマーの活用による吸水シート開発研究会 (平成29年度～30年度)
- ※公募又は研究企画にて追加し、計10テーマ程度取り組む予定。

(2) 共同研究プロジェクトの実施

事業化に向けた実証試験等の共同研究プロジェクトを実施する。

(継続テーマ)

- ・ 絶縁油再生処理技術事業化共同研究プロジェクト (平成29年度～31年度)
 - ・ フードバンクを活用した食品ロス削減推進共同研究プロジェクト (平成29年度～31年度)
- ※研究会からのステップアップにより、計4テーマ程度取り組む予定。

2 環境情報等事業

環境リサイクル技術や社会システムに関する情報を発信するとともに、3R（Reduce（発生抑制）、Reuse（再使用）、Recycle（再生利用）の頭文字、以下同じ）に係る各種事業を推進すること等により、循環型社会の構築に向けた各関係主体の取り組みを支援する。

(1) ホームページの運営

リサイクル総合研究事業化センターにおける共同研究の成果や県内及び九州各県企業が保有する環境リサイクル技術等を、ホームページを通して国内外に情報発信する。

3 環境人材育成・ネットワーク事業

(1) 事業化研修（3R研修）

企業、市町村、共同研究者等を対象に3Rや事業化に関する研修を行う。

(2) 研究成果発表会及び展示会

ア 研究成果発表会

平成29年度で終了した研究会及び共同研究プロジェクトについて、研究成果発表会を開催する。

（発表テーマ）

- ・新ごみ処理施設の排熱を利用した有明海はたき海苔資源化共同研究プロジェクト
- ・使用済みサーメットチップリサイクル共同研究プロジェクト
- ・きのこ廃菌床の乾燥システム開発研究会
- ・生ごみ資源化100研究会
- ・廃棄物を活用した高性能製鋼副資材の開発研究会
- ・微粉炭汚泥をフッ素溶出防止材として利用した廃石膏由来地盤改良用固化材の開発研究会
- ・学校給食との連携による廃食用油由来泡消火剤の事業化と環境教育プログラム構築に関する研究会

イ 展示会

エコテクノ2018（北九州市）及び2018NEW環境展（東京都）など、県内外で行われる環境リサイクル技術等の展示会に出展し、リサイクル総合研究事業化センターの事業成果の情報発信を行う。

4 プロジェクト事業

(1) 食品ロス削減推進事業（平成 28 年度～30 年度）

製造・流通・小売・消費の各段階で発生する食品ロス（食べられるのに食用にせず廃棄する食品）の削減を推進するため、次のとおりフードバンク活動の普及・促進事業を実施する。

- フードバンク団体への支援
 - ・食品提供企業の開拓
 - ・フードバンク活動の安定・強化を支援
- フードバンク活動実践事業
 - ・新たな団体に対し、継続的・安定的なフードバンク活動を支援
- フードバンク活動支援システムの構築
 - ・食品トレーサビリティ情報を共有するシステムを開発

(2) リサイクル拠点化促進事業

リサイクル総合研究事業化センターの共同研究の実績やノウハウを多くの企業・自治体等に活用してもらうため、視覚的なメディアを活用した情報発信を行うなど、研究成果の全国的普及に努め、リサイクルの拠点化を図る。

(3) 県産リサイクル製品認定事業

生活関連用品を対象として平成 27 年度に創設された県産リサイクル製品認定制度の認定製品の利用促進を図るために、新たな認定品目の素案及び認定基準案を作成し、認定申請にかかる現地調査等を行う。

(4) 太陽光パネルのリサイクル推進事業

太陽光パネルの保守・リサイクル推進協議会を設立し、平成 29 年 9 月総務省勧告を受けての国等の動向を見ながら、使用済み太陽光パネルの確実なリサイクルの実施と回収スキームの確立等を目指して、課題解決の検討を行う。